

令和5年4月3日

令和5年度 波佐見町立南小学校 学校経営方針

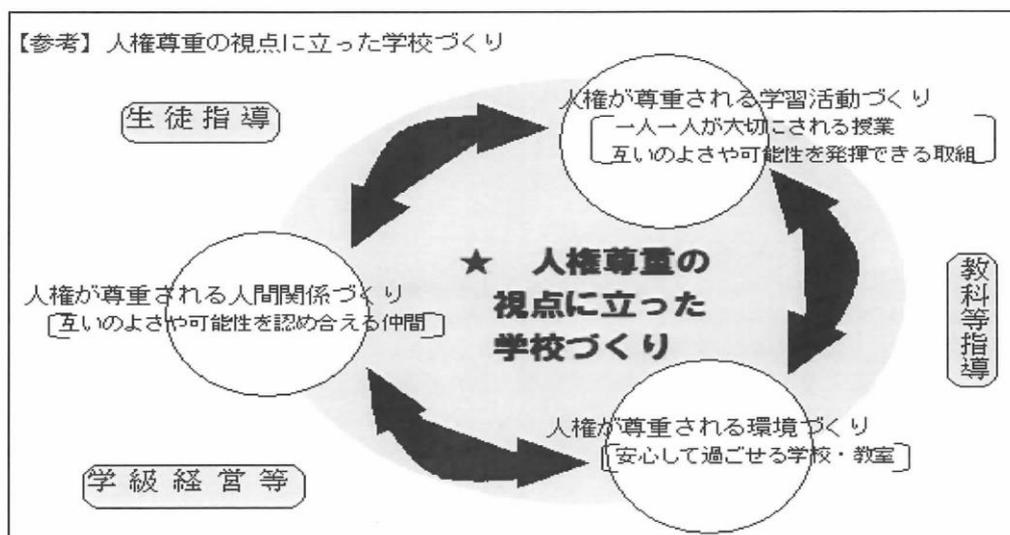
校長 藤井 大作

Ⅰ教育方針

本県及び本町の教育方針・努力目標に基づき、校訓「かしこく つよく 明るく」の理念を尊重し、地域の実情及び児童の実態を踏まえ、確かな学力を身に付け、心豊かでたくましく生きる実践力をもった児童を育成することに努める。そのために、全職員が教育者としての使命感と責任感を自覚し、英知を結集し、協力して本校教育の充実・発展に努め、保護者や地域に信頼される学校を創造する。さらに、保護者、地域社会と連携・協力し、共に育てていく中で、南小学校で学ぶ喜びを共感し、学校教育目標「未来を拓く 心豊かな南っ子」の育成を目指していく。

ところで、今年度より2年間、「人権教育」をテーマに県教育委員会の研究指定を受けることとなった。これを学校改革の最大のチャンスととらえている。「変化」に対し「挑戦」していくことで、学校価値の最大化を図る。具体的には、子供一人一人が伸びやかに自己実現を図り成長できるよう、「自分の大切さとともに、他の人の大切さを認めること」ができる児童の育成に努める。そして、これまで以上により良い人間関係を醸成しながら、やさしい心を持ち、学び合い・高め合いのできる学級・学年をつくり、教職員と児童が深い信頼関係の上に立つ教育を地道に実践・継続していくことで、学校教育目標の具現化に努める。

そのために、教職員として、使命感と情熱と常に学ぶ姿勢を持ち、豊かな人間性と高い専門性を磨き続けていく。



文部科学省 人権教育の指導方法等に関する調査研究会議

「人権教育の指導方法等の在り方について〔第三次とりまとめ〕」より

2 校 訓

かしこく つよく 明るく

3 学校教育目標

「未来を拓く 心豊かな南っ子」

(1) 「めざす子供像」と、その実現のために力を入れること

○ 認め合う 明るい 子供（徳育）

- ・ 互いの良さに気付き、励まし合い、助け合うことのできる子供
- ・ やさしい心を持ち、他人の痛みを感じることができ子供
- ・ 礼儀正しく、節度があり、感謝することができ子供

〈数値目標〉 いじめ未解決ゼロ、不登校ゼロ

- ・ すべての教育活動の根幹に「人権尊重の精神に立つこと」を据える。
- ・ 特別の教科「道徳」を重点とし、全教育活動を通じた心の教育を推進する。
- ・ 友だちと自分との違いを認めながら、友だちの良さに気付かせる。
- ・ 係や当番の仕事などでは、自分の責任を果たし、友だちと助け合い、高め合わせる。
- ・ 正しい言葉づかいをし、気持ちの良い挨拶・返事ができるように指導する。
- ・ いじめを絶対に許さない。
- ・ 「ならぬことはならぬ」といった毅然とした指導を行う。
- ・ 感謝の心を持って行動させる。

○ 考える かしこい 子供（知育）

『人権教育の充実が学力向上につながる』を合言葉に・・・

- ・ 他の人の思いや考えをよく聞き、自分を磨こうとする子供
- ・ 基礎的・基本的な知識や技能を身に付けた子供
- ・ 目標を持って、主体的に学習に取り組む子供

〈数値目標〉 標準学力テストの「目標値」

- ・ 友達と意見を交わし合い、学びを深めようとする態度を養う。
- ・ 自分の力で考え、よく聞き、表現しようとする態度を養う。
- ・ 課題をつかみ、進んで解決しようとする態度を養う。
- ・ 振り返りの時間を確保する。
- ・ 基本的学習態度を身に付けさせる。
- ・ 家庭学習の習慣化を図る。
- ・ 大学と連携した英語指導力の向上を図る。
- ・ 読書に親しませる。

○ やりぬく つよい 子供 (体育)

- ・ 基本的な生活習慣を身に付け、規則正しく健康な生活のできる子供
- ・ 自分のめあてを持って、ねばり強く最後までやり遂げる子供
- ・ 困難や逆境に負けず、力強く生活することのできる子供

〈数値目標〉柔軟性の向上を図る (前年度を上回る。)

う歯治療率の向上 (前年度を上回る。)

- ・ 何事にも根気強く最後まで取り組ませる。
- ・ 成長に必要な、困難に耐える力を身に付ける。
- ・ 外遊びを奨励する。
- ・ 換気、手洗い、うがいを徹底する。
- ・ 歯磨き指導を徹底する。
- ・ 交通安全指導を徹底する。

(2) めざす学校像と、その実現のために行うこと

○ 子供にとって、行(生)きがいのある学校

- ・ 子供たち自身が成長を感じられる学校
- ・ 友達がいて楽しいと感じられる学校
- ・ 先生が大好き、先生みたいになりたいと憧れる学校

- ・ 「わかる授業」に努める。
- ・ 「安心・安全な学校」にする。

○ 職員にとって、働きがいのある学校

- ・ 職員自身が全力で教育に打ち込める学校
- ・ 「この学校に勤めて良かった」と思える学校

- ・ 資質向上への道筋を付ける。
- ・ 自分の能力が学校経営に貢献しているという実感できる。
- ・ 一人職への配慮を忘れない。
- ・ 学級や学年、分掌の垣根を越えて連携、情報共有。

○ 保護者・地域にとって頼りがいのある学校

- ・ 子供が学校を大好きだと思っている学校
- ・ 保護者の相談に誠実に向き合っている学校
- ・ より良い教育を通してより良い社会をつくろうとする学校

- ・ 問題行動には即時対応する。(スピード感をもって)
- ・ 良いことほど、保護者に報告する。
- ・ 学校評価の結果に、誠実に向き合う。

(3) めざす教職員像

- 子供と共に行動し、寄り添う教職員
 - ・ 一人一人の子供を大切にし、深い愛情を注ぐ教職員
 - ・ 何事にも自ら積極的に動き、取り組む教職員
 - ・ 毅然とした態度で信念を持って指導にあたる教職員
- 子供と共に学ぶ教職員
 - ・ 個々の子供の課題を把握し、できるようにしてやる教職員
 - ・ 分かる授業をめざし、常に自己研鑽に励む教職員
 - ・ 教えるプロとしての自覚を持った教職員
- 保護者・地域と連携する教職員
 - ・ 子供とともに歩む姿を通して、保護者に信頼される教職員
 - ・ 地域の「ひと・こと・もの」に学ぼうとする教職員
 - ・ 教育公務員としての自覚と責任のある教職員

4 学校経営目標

目標に迫るためには、教師が意識し、子供に実行しようとする意識を持たせなければ前には進まない。そこで、「認める」・「ほめる」・「励ます」・「伸ばす」の基本姿勢をもって、学習意欲の向上と基礎・基本の徹底を図り、やさしい心の育成に重点を置き、健やかな体づくりに努めるとともに、生きていく上で必要な社会性の育成をめざす。

5 教職員・児童の事故根絶に向けて

- 問題となる事象や事故発生の可能性を予見する力
(「ヒヤリ、ハッと」で気付く)
- 報告・連絡・相談は細大漏らさず。「迷ったら報連相」

教職員の綱紀の保持について

「築城3年落城3日」

飲酒運転や体罰、わいせつ行為やセクシャルハラスメント、不適切な事務処理、個人情報漏洩等、教職員としての使命感・倫理観に欠ける行為の根絶を期し、信用を失墜することがないように全職員で取り組む

6 日々心掛けて欲しいこと

「困っている・悩んでいる同僚はいないだろうか」

- 何よりも江口新キャプテンのもと、「職員」の輪